

(別 表)

令和3年度「ひょうごアスリート応援団」事業 謝金補助単価基準

対象者	労務内容 ※実働日に限る	単位	1名あたりの単価の限度額	1日の支払上限額	備考
登録者	実技指導・スポーツ教室等の指導・講演など	時間	10,000円	30,000円	登録者、助手・係員の謝金合計補助上限額を30,000円とする。
助手・係員	登録者の補助・事業の運営等	時間	2,000円	—	助手・係員のみの事業実施は認めない。

- ※1日の支払上限額は登録者・助手・係員を含めたものとする。
- ※1回の事業における登録者の上限は2名とする。
- ※謝金以外に係る経費（交通費、施設利用料等）は事業実施者負担とする。
- ※謝金は時間単位での補助とする。事前に時間調整をすること。
- ※本表は謝金補助限度額を定めたものである。

対象者	労務内容 ※実働日に限る	単位	1名あたりの単価の限度額	1日の支払上限額	備考
登録チーム (選手・指導者)	実技指導・スポーツ教室等の指導・講演など	時間	5,000円	50,000円	登録チームの選手・指導者、助手・係員の謝金合計補助上限額を50,000円とする。
助手・係員	登録チームの補助・事業の運営等	時間	2,000円	—	助手・係員のみの事業実施は認めない。

- ※1日の支払上限額は登録チームの選手・指導者、助手・係員を含めたものとする。

- ※謝金は時間単位での補助とする。事前に時間調整をすること。
- ※本表は謝金補助限度額を定めたものである。

(謝金補助例)

登録者1名2時間、係員2名2時間の事業の場合

	人数	時間	単価	合計	謝金補助額
登録者	1	2	10,000円	28,000円	28,000円
係員	2	2	2,000円		

登録チームより3名の選手・指導者4時間の事業の場合

	人数	時間	単価	合計	謝金補助額
登録チーム	3	4	5,000円	60,000円	50,000円